

令和元年度 学校自己評価 及び 学校関係者評価 集計結果

評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	B	A	・目指す生徒像「礼儀正しく本気でやり遂げる生徒」の育成のため、学校教育目標「洗利颯爽」のもとに具体的な達成目標として策中徹底10箇条を設定し、学年・分掌共に組織的に取り組んでいる。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	B	A	・各学年ともPDCAサイクルは機能しており計画的に進められている。 ・学校評価・独自評価などを活用し昨年度に大幅な分掌・組織の改編を行った。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	A	A	・「特色ある学校」の取り組みとして、オリ・パラリ教育を中核に置き、健康・スポーツ、日本の文化、福祉ボランティア、国際理解の4分野の取組を行った。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り組織的に取り組んでいる。	B	A	・校務分掌を活用するとともに、生徒専門委員会・学校行事等を生かした取り組みを進めた。
	5	学校は、教職員の服務規律を確保するための取組をしている。	B	A	・職員室・更衣室の生徒整頓等の環境整備 ・倫理確立委員会による研修や、情報提供による教職員の意識の向上 ・管理職による教職員への面談【年3回】
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	B	A	・「課題解決に向けて自ら学ぶ生徒の育成」を学校研修課題とし、今年度は防災教育推進研究を中心に研修を行った。 ・各教科、道徳、学級活動について一人1回研究授業を実施し、授業力向上に向け、取組している。
授業等の状況	7	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づき授業改善に取り組んでいる。	B	A	・「身に付け、活用」を目指す三郷の授業の基本」をもとに、ねらいを明確にし、まとめの時間を活用するなど授業の工夫をしている。 ・昨年度までの数学・国語に加え、本年度は理科・英語でも複数教師での指導を取り入れるなど、生徒の実態に合わせた授業を進めている。 ・体験的な活動や、話し合い活動、実験実習やNIE活動などを取り入れ授業を進めている。
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	B	A	・基礎的な学力定着のため、学年でのコバトン問題などに取り組んでいる。 ・学習の定着が十分でない生徒に対し、補習授業を実施している。 ・栄ノートについては毎日教師が点検し、家庭学習の定着を図っている。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	B	A	・各授業時間ごとに行う授業評価の評価項目を「三郷市授業の心得」に関連させ、「チャイム」「あいさつ」「聴く姿勢」を意識して指導に当たっている。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。	B	A	・授業三原則を定着させるために年3回の授業評価コンクールをおこなっている。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。	A	A	・メディアセンターの充実と各学年フロアへの環境整備(学年ごとの推薦図書の設定や家読ゆうびんの掲示等)の充実を図った。 ・図書委員会、学校司書、図書ボランティアを中心に、イベントを定期的に実施した。 今年度4月～12月貸出冊数 8677冊(昨年度同時期7819冊)+858冊
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。	B	A	・週4回の朝読書、教職員お薦めの本展示と学校便りでの紹介、全校での「家読ゆうびん」の取組「校内家読ゆうびんコンクール」の実施、3学年「名言ポスター」「調べ学習コンクール」、2学年「一緒によう！新聞コンクール」授業での取組、1学年「一緒によう！新聞コンクール」
	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	B	A	・栄養教諭による全学級での栄養指導の実施 ・給食委員を中心に「残菜ゼロキャンペーン」を実施し、食に対する意識の向上をはかった。 ・PTAに対して学校保健委員会を活用して朝食をテーマとした研修をおこなった。 ・姿勢についての調査により、埼玉県統計グラフコンクール県教育長賞を受賞(2年連続)
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。	B	B	・保健体育授業における補強運動の実施 ・体力向上の取組として、廊下やビロティなどに掲示物やトレーニング用具を設置 ・体育委員会によるボール貸し出しや、栄中ギネスの実施 ・市内駅伝大会に向けた強化練習の実施(男子優勝・県大会出場、女子3位入賞)
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育を積極的に推進している。	B	A	・学年担当教師全員によるローテーション道徳の実施 ・学級の実態把握に努め、学級毎に授業構成や話し合いの形態を変えるなどの工夫を行っている。
	16	学校は、道徳授業の工夫改善に努めている。	B	A	・ローテーション道徳の実施により、副担任を含めた全教職員が授業と研修を行い、工夫改善をすすめた。 ・道徳ファイルを活用し、振り返りができるようにした。
	17	学校は、自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	B	B	・「生徒があこがれる教師」を目指す教師像に掲げている。 ・式典、保護者会など、TPOに応じた服装で臨み、生徒に対し範を示している。 ・あいさつ、はき物そろえ等は教員が率先しておこなっている。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。	B	B	・生徒会本部役員を中心にあいさつ運動を実施、結果を集会で発表。 ・教職員からのあいさつは、十分とは言えないが徐々に定着しつつある。 ・保護者評価では、「生徒は進んで挨拶することができている」が昨年度よりも0.13ポイントの上昇が見られるが、まだ改善の余地はある。
19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	B	B	・保護者評価では「そう思う」「ややそう思う」の合計が昨年度に比べて低下しており、今後の指導が必要である。 ・県学力・学習状況調査の質問紙においても、「よくなる」「だいたいできる」の合計は、学校全体は適切な言葉遣いが定着しているとは言いきれず、教師の言葉遣いも含め言語環境の整備は引き続き必要である。	
指導・管理の状況	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	B	A	・生徒指導部会・教育相談部会を定期的に実施し、不登校・非行問題行動に関しての情報交換と対策を行っている。 ・不登校生徒については、担任を中心にさわやか相談員も家庭訪問を行い、生徒理解に努めている。 ・保護者会や三者面談、家庭訪問等を実施し、家庭・保護者・SCとの連携を図り指導に当たっている。
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	B	B	・問題行動や不登校については、さわやか相談員やSCも加わり、必要な場合にはSSW等、関係機関との連携を図っている。 ・定期的なアンケート(年9回、うち無記名2回) ・三者面談や全校生徒に対する校長面談の実施
	22	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合う指導をしている。	B	B	・緊急マニュアルを職員室前面に掲示し、事例研修により未然防止。 ・予告なしのショート訓練、避難訓練なども計画・実行するなど、体制作りを進めている。
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	A	・安全点検は毎月1回実施している。 ・下校時には複数人の教職員が安全指導にあたるなどの協力体制が整っている。 ・交通安全・非行防止、薬物乱用、携帯電話等のトラブルについて、啓発講演会を実施
	24	学校は、定期的な安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	B	A	・階段や廊下の各所に掲示スペースを新設し、オリ・パラ関連の掲示や、学年行事や学校行事・表彰などの掲示をおこなっている。 ・校舎・設備の老朽化対策が喫緊の課題である。
	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。	B	B	・視聴覚室・ランチルームの整備。 ・ビロティの有効活用
家庭・地域との連携状況	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。	A	A	・毎日の給食や、学校行事など定期的にホームページを更新している。 ・学校・学年・学級だよりを発行し、情報発信を行っている。 ・進路だより・給食だより・図書館通信・保健だよりを全学年に配布し、啓発を図っている。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。	B	A	・PTAとの連携として年3回「資源回収」を行っている。 ・学校応援団や育成会の協力を得て、毎日朝のあいさつ運動を実施している。 ・生徒の学校緑化活動(花咲かせ隊)に学校応援団からも協力をいただいている。 ・「カミナリ」の会や「ひまわり隊」から校内整備への協力を得て活動を進めている。 ・図書ボランティアによるメディアセンターの開館や整備を行っている。 ・「親の学習」として3学年で赤ちゃん体験を実施
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	A	A	・PTAバザー、スポーツ大会、資源回収などの活動にも積極的に協力している。 ・大場川清掃や、市民体育祭、地域の祭り等にも参加している。 ・社会貢献部や生徒会本部役員を中心として、小学校バザーや子育てフェスタの手伝いなどにも参加している。